

Cross of Heart

2020.4 春号

vol.43

Japanese Red Cross Fukuoka Hospital

院長就任のご挨拶

就任のご挨拶

院長退任のご挨拶

退任のご挨拶

Information

入退院支援課より

Introduction 登録医のご紹介

しまだハートクリニック

医療法人 みみ・はな・のど せがわクリニック



福岡赤十字病院

日本赤十字社

病院の理念

信頼と調和に基づく最良の医療
～地域を尊重、世界を視野に～

基本方針

1. 質の高い安全な医療
2. 救急医療
3. 国内外の医療救援活動
4. 地域連携
5. 教育・研修・研鑽
6. 患者・職員満足度の向上



福岡赤十字病院 院長
中房 祐司

院長就任のご挨拶

令和2年4月1日付で院長に就任いたしました中房祐司です。出身は宮崎県、昭和58年に九州大学医学部を卒業しました。専門領域は外科で、移植を含む外科全般を診療していました。現在は主に大腸癌、乳癌を担当しています。当院へは平成21年4月に外科部長として赴任しました。大腸癌、乳癌の外科診療を行う傍ら化学療法や緩和医療も担当しました。平成24年10月に副院長に就任し、さまざまな病院運営・管理業務を経験いたしました。これからは、さらに病院全体の運営・管理を担当することになり、身の引き締まる思いです。

地域の皆様の支えにより、当院は大学病院に準ずる内容の医療が提供できるレベルに成長して参りました。この度、私たち職員の気持ちを新たにする目的で、病院理念を「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界

を視野に」と改訂いたします。安全で高度な医療を提供する体制を整えるとともに、患者さんやご家族から求められる良い医療を目指します。地域住民や近隣の医師との調和を重視し、信頼される安心な医療を提供することを私たちの使命とします。その上で赤十字のもう一つの大切な使命である国内外の医療救援を積極的に行いたいと考えています。

これからも、皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

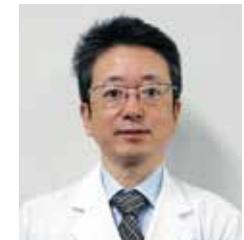
令和2年4月吉日

Cross Heart

就任のご挨拶

副院長就任あいさつ

2020年4月
副院長 **平川克哉**



このたび、副院長を拝命いたしました。私は高校卒業まで福岡市南区で生活し、久留米大学医学部を卒業後、1987年に九州大学医学部第2内科(現病態機能内科学)に入局し、消化器内科を専門として経験を積んで参りました。2002年から当院に赴任し、2003年から消化器内科部長として早期がんや消化管出血に対する内視鏡治療と炎症性腸疾患に対する難病治療を2本柱として、消化管疾患全般への診療体制の充実に取り組みました。2012年に新病院が完成し、1階フロアの一角に内視鏡室が設置されて機能が拡大しました。更に、医師会の先生方と共に胃がんや大腸がんの公的検診に取り組み、早期発見・早期治療に力を入れてきましたので、医療連携の大切さは身にしみて感じています。

当院は福岡市南部地区を中心に、急性期医療の役割を担っています。今後は病院全体の運営にかかわる役割が多くなりますが、生まれ育った地域の方々に恩返しするつもりで、医療体制を整えて誠心誠意力を尽くしてまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

医療安全推進室長兼 教育研究推進室長 就任あいさつ

2020年4月
副院長 **永井英司**



今年度から医療安全推進室長と教育研究推進室長を拝命いたしました。臨床では外科部長として低侵襲手術(内視鏡下手術、ロボット支援下手術)や糖尿病外科治療に携わっております。医療安全推進室長として医療安全意識の向上、システムの改善、チームコミュニケーションの向上を通じて当院の基本方針のひとつである質の高い安全な医療継続のために貢献していきたいと思っています。また教育研究推進室長として各科の先生方の協力を頂きながら、研修医が基本的価値観(プロフェッショナリズム)、業務遂行のための資質・能力、そして基本的診療業務を習得できるように尽力したいと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

診療部長就任あいさつ

2020年4月
第一放射線科(治療)部長 **木村正彦**



放射線治療に専心し、約25年が経ちました。常に明るく接して、患者様が治療に専念できる環境づくりに努めてまいりました。最近の放射線治療は高精度な装置、器具を使用し、より正確に癌病巣を狙います。治療効果は、より高く、安全になっております。当院の治療スタッフは、医師・技師・看護師が、それぞれ放射線治療、癌治療の専門性を活かし、患者様に安心して治療に臨んでいただけるように取り組んでおります。ご紹介いただいた方々を明るく、気持ちよく、ご家族様の元に、ご紹介いただいた先生方へお返しえべきだと思っております。お気軽にご相談、お尋ね下さい。スタッフ全員でサポートいたします。

院長退任のご挨拶

前 福岡赤十字病院 院長
寺坂 禮治



私は、25歳で医学部卒業後、30歳で大学院での基礎研究を終了し、その後10年間、地域の第一線病院での臨床研修、留学（米国）、途上国支援（中国北京市）、そして大学での医学研究、教育、臨床と続き、様々な経験をさせていただきました。40歳の時に大学を辞し、その後15年間故郷北九州市の病院で手術三昧の外科医生活。数多くの患者さんとの思い出を共有しました。そして私の現役医師としての最終章となる、55歳から今日までの15年間を、福岡赤十字病院に奉職することができました。

しかし、当院に赴任し目の当たりにした建物の老朽化とそれに伴う機能不全は想像以上で、心折れる思いを何度もしましたが、職員の総意に押され病院新築を決断して以降は、地域の信頼に耐えうる医療機関創設に燃え、一心不乱に新病院づくりに没頭することができました。

さて、新病院設計にあたり鮮烈に覚えていることは、主任設計者から「病院創りは街創り」というコンセプトを教わったことです。即ち、病院施設が街の景観維持に貢献する事はもちろんのこと、病院が地域の社会機能の維持に寄与し、住民と触れ合い、混じり合うことなどを意味しています。病院は地域が求める医療を忠実に提供し、同時に社会貢献も実践、継続しなければなりません。

早いもので新病院竣工後7年が過ぎました。この間、地域の基幹急性期病院として、赤十字の務めである救急・災害医療の実践の他、先進医療の導入や一般診療機能の充実に努め、病院運営の公正性の維持、経営の健全化を求めてまいりました。これら本業の他、「病院創りは街創り」に従い、敷地内への高宮交番の誘致や産直マルシェに始まり、様々なイベントを通じての地域貢献、社会貢献を実践してまいりました。

当院の開設者である日本赤十字社は医療事業を最重要課題と位置付けており、病院を支える母体としては理想的な組織です。私自身、現役最終章となる15年間を日本赤十字の社員として過ごせたこと、社員として皆様と共に地域の医療を担えた事を大変光栄、幸福に感じているところです。

おかげさまで、多くの皆様の温かいご支援をもちまして、私の任期は大過なく果たすことができそうです。改めまして皆様のご協力、叱咤激励、ご指導に心からの感謝を申し上げ、退任のご挨拶といたします。有難うございました。

令和2年3月吉日

Cross Heart

退任・異動のご挨拶

退任のご挨拶

2020年3月
内分泌内科 中川瑞穂



1996年6月に仲村吉弘部長が率いる糖尿病内分泌内科に赴任しまして約24年近くになります。糖尿病の診療では非常に多数の患者さんの診療を通して、様々な合併症診療を経験し、臨床力を鍛えられました。

2004年から医療社会事業部、2005年から健診部を兼任し、臨床は2007年4月から内分泌内科診療に専念し、甲状腺、副腎、副甲状腺疾患を中心とした内分泌疾患の診療で数多くの紹介を頂き、妊娠合併バセドウ病や橋本病、甲状腺機能低下症、甲状腺クリーゼ等重症例、原発性アルドステロン症(PA)や褐色細胞腫も少なからず経験でき、地域医療にある程度貢献できたと思っています。貴重な患者さんをご紹介下さった先生方には心から感謝しています。私の診療について来て下さった多数の患者さんにも本当に感謝しています。ありがとうございました。

私は2020年3月をもって定年退任になりました。4月以降も福岡赤十字病院に勤務しますけど、新患外来には出ないで、午後の再来患者さんの診療と、月曜、木曜の健診、人間ドックの診療と糖尿病代謝内分泌内科の診療のサポートを務める予定です。今後も福岡赤十字病院のご支援、ご指導をどうぞよろしくお願い致します。

異動のご挨拶

2020年3月
放射線科 松延亮



2019年4月当院初の常勤の放射線治療医として赴任しました。近隣の先生方、院内各診療科の先生方から多くの患者さんをご紹介いただき、過去最高の年間延べ208名の患者さんの放射線治療をさせていただきました。今後さらに多くの患者さんのお役に立ちたいと思っておりましたが、医局人事により九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマット)に異動することになりました。

短い期間ではありましたが、皆様大変お世話になりありがとうございました。今後とも、福岡赤十字病院の放射線治療部門をよろしくお願いします。

Greetings of moving

地域と共にに行う急性期病院での認知症高齢者の意思決定支援

～ACP実践事例の紹介～

入退院支援課より

「身寄りのない認知症高齢者の退院支援」

医療連携課 ソーシャルワーカー 和田 桂典

今回、認知症があり、また身寄りのない高齢者のAさんの退院支援に関わらせて頂きました。今回の入院で初めて病気が見つかりましたが、認知症であることや身近に相談できるご家族がいなかったことから、どのように病気を本人に伝え、また今後の生活の意思決定をどのように支援していくのかとても難しい事例でした。そのため主治医、病棟看護師、認知症ケアチーム、ソーシャルワーカーなど多職種でカンファレンスを複数回行い、本人の希望をどのように叶えていか検討していました。また病状説明の際には、日々の診療をして頂いていたクリニックの先生やケアマネジャーにも来て頂き、本人の意思決定をサポートできる体制を心掛けました。その過程で本人抜きで話が進んでいくのではなく、本人に理解できるよう支援することを大事に関わらせて頂きました。

今回、患者さんの意思決定支援についてとても悩んだ事例ではありましたが、院内、在宅含めた多職種で患者さんことを考えていくこと、患者さんの思いを繰り返し聞くことの大切さを学びました。今回学んだことを次に活かし、これからも頑張っていこうと思います。

「かかりつけ医、地域の支援者とともに認知症高齢者の意思決定支援」

入退院支援課 認知症看護認定看護師 宮原 あや

私は意思決定支援でAさんに介入しました。Aさんは中等度以上の認知症で、数分前の記憶保持も困難でした。治療過程で癌がみつかり、病状告知や治療選択など本人の意思をどのように汲み取るのかが課題でした。Aさんの場合、唯一顔と名前が一致するかかりつけの医師とケアマネジャーが意思決定支援におけるキーパーソンであると考え、病状説明への同席を依頼しました。病状説明の場面では、長期に渡りAさんを診てこられ信頼しているかかりつけ医師の補足説明もあり、Aさんなりに理解ができ、時折質問や相談をしながら保存療法を選択されました。また、かかりつけ医の訪問診療を継続しつつ、施設入居という今後の生活に対する希望も表出できました。日や時間帯を変え繰り返し確認を行いましたが、その思いは一貫しており、Aさんの希望に沿い院内・外の多職種の連携で希望通り当院から施設退院となりました。

平成30年6月に厚労省から「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」が公表されました。臨床の場でどう活用していくかは今後の課題です。今回の事例を通して、患者さんにとって重要な地域のキーパーソンを知りその方々と連携することで認知症があつても自分らしい生き方の選択ができるることを再認識できました。今後も連携病院や地域の方々とともに、認知症本人の意思をつなぐ看護ができるよう努めて参りたいと思います。

病診・病病連携連絡協議会について(中止のお知らせ)

当院では、例年7月上旬頃「病診・病病連携連絡協議会」を開催しておりましたが、本年度については新型コロナウイルス感染状況に鑑み、「中止」とさせていただきます。



Cross Heart 地域とともに! 登録医紹介

当院の基本理念である「地域と共に世界を視野に信頼される最善の医療」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

しまだハートクリニック

Q 当院の特長

心臓血管外科医としての勤務医経験から、当院は循環器疾患だけではなく、心臓手術後の患者さんのフォローアップも可能なクリニックです。患者さんの多くは様々な疾患をお持ちのため、健康的な生活をして発病を予防することで疾患そのものの発生を抑える「一次予防」と同時に、治療が一番有効だとと思われる患者さんを、相応しい治療ができる専門医にきちんとご紹介することが大切だと考えています。そのため、専門外のことでも気になることがあれば積極的に連携医療機関に紹介するようにしています。

慢性疾患や生活習慣病などの持病がある方は長期間治療を続けなければなりません。患者さんが安心して楽しく生活するためのサポートが出来ればという思いを胸に抱き、スタッフ一同、チームとして診療を行っています。



▲嶋田一郎院長(左から4番目)とスタッフの皆さま



院長 嶋田 一郎 先生
(日本循環器学会 循環器専門医)
住所 〒811-1361 福岡市南区西長住2丁目23-8
TEL 092-551-1510
診療科目 循環器科・内科・心臓血管外科
診療時間 第1・第3・第5月曜日 9:00~12:30, 14:00~17:30
火・水・金曜日 9:00~12:30, 14:00~17:30
木曜日 9:00~12:30
土曜日 9:00~13:00
休診日 第2・第4月曜日、木・土曜午後、日曜・祝祭日、年末年始、お盆期間

医療法人 みみはなのどせがわクリニック

Q 当院の特長

当院は耳鼻咽喉科のクリニックで特に小児のお子さまが多く来院されますが、小さいお子さまからご高齢の方まで「来院された皆様におもいやりにあふれるクリニック」をテーマに、患者さんに寄り添うことを大切に診療を行っています。

集団保育による早期からの中耳炎や上気道炎の罹患が問題になっているお子さまの診療では、親御さまの不安を少しでも取り除いて差し上げたいとの思いから、自宅での過ごし方などの啓蒙を含めた診療を行います。また、時間がない成人患者さまも来院されるため“順番受付システム”“WEB問診システム”を導入し、院内での待ち時間を軽減するようにしています。

診察室での医師の話をよく覚えていない・もう少し聞きたかったということが誰しもあると思います。当院では、診察後に看護師やスタッフによる“アフターカウンセリング”を実施し、診療に満足してお帰りいただけるように日々心掛けています。



▲瀬川祐一院長(後列中央右)とスタッフの皆さま



理事長兼平尾本院院長 瀬川 祐一 先生
(日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医
日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医)
住所 〒810-0015 福岡市中央区那の川2丁目10-25-1F
TEL 092-533-8739
診療科目 耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科
診療時間 月・火・木・金曜日 9:00~12:30, 14:00~18:00
水・土曜日 9:00~12:30
休診日 水・土曜午後、日曜・祝祭日、年末年始
音声ガイダンス受付 050-5533-6531(当日受付のみ)
WEB受付 下記ホームページより受付(当日受付のみ)
ホームページ <https://segawa-cl.com/clinic/hirao/>

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
総合診療科	川本 徹				○			副部長
	総診当番医①	○	▲	○	▲		内科一般	
	総診当番医②	○	○	○	○	○	※当番医: 内科系医師による交替制	
消化器内科	青柳 邦彦			▲	○			副院長
	平川 克哉	○		▲				副院長
	工藤 哲司	▲	○					副部長
	秋吉 大輔	▲				○	消化管 (食道・胃・小腸・大腸)	
	野村 亜貴子	○		▲				
	横手 章人	▲		○	▲			
	吉原 崇正	○			▲			
腎臓内科	内海 聰志			▲				
	満生 造司	▲	○	○				部長
	中井 健太郎	○	▲					副部長
	宿理 朋哉		▲			○	腎臓	
	古原 千明	○	▲					
	石松 由季子			○				
	井上 めぐみ	▲						
糖尿病・代謝・内分泌内科	山岡 奈央							
	佐藤 克樹							
	佐々木 伸浩	○			○			部長
	納富 威允	○	○	○	●	●	糖尿病・代謝・内分泌、生活習慣病	
	川本 徹	○	▲	○			※内分泌新患は火・水・金のみ	
	藤平 美佳	●	●	○	○			
	大村 一華	●	●	○	●			
循環器内科	中川 瑞穂	▲	▲	▲	▲			
	向井 靖	○	○	○				部長
	増田 征剛	○			▲			副部長
	松川 龍一	▲		○				副部長
	松浦 広英	○	▲					副部長
	戸伏 倫之	▲	▲		○			
	徳留 正毅		○					
高血圧内科	河合 後輔	○					循環器	
	岡原 有秀				○			
	岡部 浩祐							
	生田 拓							
	中島 光香							
	大坪 俊夫	○					高血圧	部長
	河口 知允	○		○				部長
呼吸器内科	増本 駿	▲		○				
	平田 慎治	▲		○			呼吸器一般	
	長谷川 真紀	○	▲	▲				
	河野 拓		○					
肝臓内科	早田 哲郎	○	○	○	○			部長
	西澤 新也	○		○			肝疾患一般	部長
	東山 貞隆							
	宮山 隆志							
血液・腫瘍内科	谷本 一樹	○		○				
	平安山 英穂		○				血液疾患一般	部長
	河野 一郎	○					固形腫瘍の化学療法	副部長
	次郎丸 高志				○			副部長
脳神経内科	谷口 志保							
	北山 次郎	○		○				
	岡田 卓也		○	○	○		脳卒中・神経疾患	部長
	佐原 範之	○						
膠原病内科	池内 泰仁							
	井上 靖	▲	○	○	○		膠原病	部長
	田中 淳	○		○				
	祢宜田 絵美							
感染症内科	石丸 敏之	○		○	○		感染症一般	副院長
	後藤 健志			○			※金は午後のみ(13時~15時受付)	
	横山 貴士							
	中房 祐司	○						
外科	永井 英司	○						
	本山 健太郎	○	▲					
	小島 雅之	○						
	上田 純二	○					一般外科	院長
	井上 重隆	○					消化器外科、肝胆脾外科	副院長
	小倉 康裕	○					乳腺・内分泌外科	部長
	梁井 公輔	○					呼吸器外科	部長
	安井 隆晴	○					腹腔鏡下・胸腔鏡下手術	副部長
	松田 圭央	○					腎移植・腎不全外科	
	松永 壮人	○					ERCP・PTCD・EST	
心臓血管外科	森崎 隆史	○						
	畠井 三四郎							
	小江 雅弘	○		○			心臓外科、大動脈瘤	部長
	元松 祐馬	▲		▲			血管外科	副部長
脳神経外科	継 仁	○					脳腫瘍	部長
	吉岡 努	○					脳血管障害(脳卒中)	部長
	三木 造一	▲	▲	○	▲		脳神経外科疾患	部長
	高木 友博	▲	○		▲		※水は手術日です	

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬	部長
	真竹 景介	○	○	○	○	○	アトピー性皮膚炎	
	大石 誠一郎	○		交替制	○	交替制	※月は10時まで、再診は完全予約制	部長
眼科	三股 政英	○		交替制	○	交替制	糖尿病性網膜症	
	非常勤	○					白内障、緑内障	
	泊 真二	○		定期手術日	○	交替制	※火・木は10時まで、再診は完全予約制	副院長
整形外科	伊藤 康正	○					脊椎・脊髄外科	副院長
	加藤 剛	○					関節外科・リウマチ外科	部長
	由布 龍矢						脊椎・脊髄外科	部長
	安原 隆寛	○					膝関節・脊椎外科・一般	副部長
	高橋 宗志						手の外科・外傷・一般	
	長谷川 晃大	○					外傷一般	
	杉田 敏明	○					※木は10時まで、火は手術日です	
産婦人科	西田 真	婦			婦	産		部長
	遠城 幸子	産婦	産		婦	婦		部長
	栗原 秀二	産			婦	産		副部長
	安藤 真理子						周産期	
	瀬崎 洋一郎						悪性腫瘍、良性腫瘍	
	前原 佳奈	産	婦		産婦	産婦	腹腔鏡手術	
	吉田 優	婦					※火・木は10時まで	
	嶋田 幸世	婦	産婦					
	井町 佑三		産婦					
	岸田 薫	産婦						
	岩下 早紀							
	中島 奈津実							
小児科	波多江 健	○		○	○	○	腎疾患	部長
	久保 梶治						新生児	部長
	小野山さがの	○					感染症	副部長
	松倉 幹						神経	
	西村 真直	○		○	○	○	一般・腎疾患	
	近間 琴美						一般	
	田代 真子						一般	
	非常勤(神経再来)				○	○	神経 ※予約制、午前中のみ	
	非常勤(循環器再来)						循環器 ※予約制、午前中のみ	
耳鼻咽喉科	高岩 一貴	○	○	○	交替制	○	耳鼻科一般	副部長
	藤村 晶子	○	○	○	○	○	※水・金は10時まで	
	原 奈津貴	○					※金は非常勤医師の午前中のみ	
	非常勤						※緊急時は対応いたします	
形成外科	濱田 裕一	○		○	○	○	再建外科・リンパ管外科・先天性疾患・顎顔面	部長
	清島 圭二郎	交替制	●	●	●	●	尿路結石	
	秋武 正和	○	●	●	●	●	排尿機能障害	
	平 純	●	●	●	●	●	尿路感染症	
	白石 航	●					尿路性器腫瘍	
	宮崎 有沙						腹腔鏡手術	
	非常勤					▲	口ポット手術	
精神科	芝田 寿美男	●	●	●	●	●	一般・行動療法・強迫性障害	部長
	非常勤						※完全予約制、新患は月・水・金のみ	
歯科・歯科口腔外科	樺山 哲郎	○	○	○	○	○	一般歯科・口腔外科	部長
	松尾 芳雄						※再診は完全予約制	
放射線科(診断)	川野 優作						検査依頼(C T・M R I・R I等)のみ	
	新垣 哲子						電話予約制	
	岩政 理花							
	田畠 公佑							
放射線科(治療)	木村 正彦		●	●	●	●	放射線治療 ※火は午前中のみ	部長
	非常勤	●						
麻酔科	生野 恒二郎							
	江口 明							
	迎 雅彦							
	林 文子							
	中森 純里砂							
	郷原 的							
	三原 乳							
	丸田 弦							
	畠中 麻衣							
病理診断科	西山 恵一						人体病理一般	部長
検査部	北原 大地						検体検査管理	
急救科	友尻 茂樹							
	荒武 恵司							
	大矢 浩史						救急 (各種中毒疾患含む)	
	皆川 雄郷							
	村瀬 美奈子							
健診部	大坪 俊夫						人間ドック・健康診断	部長

●受付時間 8時10分～11時00分 (診療開始 8時40分)

※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限ります。

●急患診療体制

※救急車や医療機関からの紹介患者の受け入れは、24時間体制で対応いたします。

内科系	平 日	17時00分～23時00分
	土・日・祝日	8時30分～23時00分
小児科	平日(祝日除く)	17時00分～19時30分
	土(祝日除く)	9時00分～17時00分

●休診日 土・日・祝・年末年始 (12/29～1/3)

※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。